

## 令和4年度安全登山指導者研修会「西部地区」開催要項

### 1. 趣 旨

登山の基礎的な知識や技能について習得するとともに、研究協議を行い、登山初心者を含む一般登山者の指導者養成と安全な登山の普及を図る。

### 2. 主 催

独立行政法人日本スポーツ振興センター  
公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

### 3. 共 催

公益財団法人全国高等学校体育連盟

### 4. 後 援

スポーツ庁、島根県、島根県教育委員会

### 5. 主 管

島根県山岳連盟

### 6. 期日、開催地及び参加府県

(1) 期日：令和4年11月18日(金)～20日(日)

(2) 開催地：島根県大田市三瓶山周辺

(3) 開閉会式・宿泊場所

国立三瓶青少年交流の家（島根県大田市山口町山口 1638-12）

TEL：0854-86-0319 FAX：0854-86-0458

(4) 参加府県（23府県）

滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫、鳥取、島根、山口、広島、岡山、香川  
徳島、高知、愛媛、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

### 7. 日 程（別紙1）日程表の通り

### 8. 研修内容

基本テーマ「地図読み」

#### 1日目

(1) 講義Ⅰ（90分） 「登山のPDCA」 北村 憲彦氏

(2) 講義Ⅱ（120分） 「読図とナビゲーション」（初級・中級編） 河合 芳尚氏

(3) 講義Ⅲ（90分） 「ルートプランニングの指導」 //

#### 2日目

(4) 実技研修Ⅰ（60分） 「コンパスの使い方」 河合 芳尚氏 北村 憲彦氏

(5) 実技研修Ⅱ（360分） 「ナビゲーションの実践」 //

(6) 実技研修Ⅲ（60分） 「実技研修の振り返り」 //

#### 3日目

(7) 研究討議（130分） 「安全登山指導者を目指して」 北村 憲彦氏 河合 芳尚氏

## 9. 講師

### (1) 研修会(実技)講師

講義Ⅰ	北村 憲彦氏 名古屋工業大学教授 国立登山研修所専門調査委員長 愛知県山岳連盟理事長
講義Ⅱ・講義Ⅲ	河合 芳尚氏 豊川山岳会(愛知県)
実技研修 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	国立登山研修所講師 (公財) 日本スポーツ協会公認 山岳コーチ 1 (公社) 日本オリエンテーリング協会公認 ナビゲーションインストラクター

### (2)実技講師

#### 島根県山岳連盟

櫻内 保幹	(公財) 日本スポーツ協会公認 山岳コーチ 2
米倉 得雄	(公財) 日本スポーツ協会公認 山岳コーチ 2
富田 一志	(公財) 日本スポーツ協会公認 スポーツクライミングコーチ 1
原木 善二	島根県山岳連盟 島根県高等学校体育連盟登山専門部委員長
宮崎 邦哉	島根県山岳連盟
福田 悟	島根県山岳連盟
持田 寿	島根県山岳連盟
岩成 久	島根県山岳連盟

## 10. 参加対象者

### (1) 参加対象者

ア、次の①～⑦に該当する健康な者

- ① 地域、職域等における登山クラブ(グループ)のリーダー・指導者
- ② 都道府県山岳連盟(協会)の関係者、都道府県・市区町村の関係者(登山担当者・スポーツ推進委員等)
- ③ 高等学校・高等専門学校の登山部等で指導をしている教職員等
- ④ 旅行会社等が主催するツアー登山の関係者(企画担当者、引率者等)
- ⑤ 登山用具店の担当者、登山教室等の企画や指導に携わる者
- ⑥ トレイルランなど、登山技術・知識が必要なアウトドアスポーツの愛好者
- ⑦ その他、中高年を含む一般登山者の指導に携わる者

イ、定員 25名

### (2) 参加対象者申込み及び問合せ先

ア、上記の①～⑦の該当者で参加を希望する者は、締切り日までに参加申込書(様式1)に参加者個人票(様式2)を添えて(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会に申し込むこと。

イ、定員を超える場合は、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会と島根県山岳連盟が協議のうえ、参加者を決定します。

ウ、問合せ・申込先及び締切日

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2

ジャパンスポーツオリンピックスクエア 807 号室

(公社) 日本山岳・スポーツクライミング協会

TEL 03-5843-1631 FAX 03-5843-1635 Eメール : info@jma-sangaku.or.jp

申込期限: 令和4年10月17日(月)

エ、参加承認については、締切り日以降に連絡します。また、参加費の振り込みは参加承認後をお願いします。

11. 参加費

- (1) 参加費 11,000 円(宿泊費・食費・傷害保険料・資料代他)。なお、情報交換会に関する経費は受付時に現金にて集金します。
- (2) 振込期限 参加承認連絡後 2 週間以内をお願いします。
- (3) 振込先 みずほ銀行渋谷支店(210)  
口座番号 普通預金 1323253  
口座名 公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
- (4) 自己都合により参加できなくなった場合の参加費の返金(キャンセル日及び期間)振込手数料、キャンセル料を除いた額を返金します。  
注) キャンセル料は時期により下記の通りとなりますのでご承知ください。  
11月4日～10日: 30% 1週間前: 50% 3日前: 70% 前日・当日: 100%

12. 登山時の服装及び装備等

- (1) 服装  
帽子、長ズボン、長袖シャツ、登山靴、靴下、上下セパレーツの雨具、速乾性の下着、手袋、防寒対策等(温度調整が容易な服装に配慮ください)
- (2) 装備  
ザック、水筒・保温ボトル、コンパス、マップケース(ファスナー付きナイロン袋可)、スマホ(登山地図がアプリに事前インストール済のもの)or 登山用 GPS、ストック、常備薬、三角巾、ヘッドランプ、ナイフ、筆記用具(3色ボールペン・黄色以外のマーカーペン等) 健康保険証・虫よけ等、あれば「テーピングテープ(38mm～50mm)」
- (3) 感染予防  
マスク、体温計、アルコールジェルなどの消毒液、ゴミ袋(ファスナー付き)、  
※非接触型体温計、アルコールジェル等の消毒液は、共用のものを主催者でも準備します。
- (4) 生活用品  
上履き、洗面用品、入浴用品(石鹸、シャンプー等)、タオル、歯ブラシ等

13. 終了証の授与

この研修会を終了した者には、修了証を授与します。

14. その他

- (1) 本研修会は(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の更新時の「更新研修」の対象です。

- (2) 食事は、主催者で下記のように準備しています。(費用は参加費に含まれています)
- ① 1日目：昼食(受付終了後各自で摂ってください) 夕食
  - ② 2日目：朝食 昼食(弁当) 夕食
  - ③ 3日目：朝食
- (3) 宿泊地周辺にはコンビニはありません
- (4) 新型コロナウイルス感染拡大の状況により、感染症拡大防止の観点から実技研修の実施方法や内容等を変更させていただく可能性があります。
- (5) 2日目夜の情報交換会について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止する場合があります。そのため参加費には情報交換会経費は含まれておりません。実施の場合は受付での集金とします。
- (6) 前泊・後泊についての斡旋はしません。参加者各自で対応をしてください。
- (7) 会場までの交通手段は次の通りです。(詳細は別紙2参照)
- ① JR・飛行機をご利用の場合  
JR 山陰本線大田市駅から現地までタクシーで約 30 分。路線バスで約 60 分  
JR 山陰本線出雲市駅からタクシーで約 55 分  
出雲空港からタクシーで約 75 分
  - ② 自家用車利用の場合  
中国自動車道三次東 IC より～松江自動車道～国道 54 号～県道 40 号経由で約 90 分  
松江自動車道吉田掛合 IC より～国道 54 号～県道 40 号経由で約 40 分  
※カーナビを活用する場合は TEL0854-86-0319 (国立三瓶青少年交流の家)で検索
- (8) 新型コロナウイルス感染拡大及び地震・風水害・降雪・事件・事故・疫病等により開催に支障があると判断した場合、中止またはスケジュールを変更する場合があります。その際、振込後の参加料のすべてを返金できない場合がありますので、予めご了承ください。
- (9) 本研修会は別紙3の通り、新型コロナウイルス感染防止対策に沿って開催します。研修会参加にあたり、「新型コロナウイルス感染についての体調管理チェックシート」の提出をお願いします。(参加承認者に送付します)

## 2 日程表 (予定)

別紙 1

	11月18日(金) 第1日	11月19日(土) 第2日目	11月20日(日) 第3日目
7		6:30 起床	6:30 起床
8		7:30~8:30 朝食(食堂) 8:30~8:45 準備 移動(10分)	7:30~8:30 朝食(食堂) 8:30~9:00 チェックアウト準備
9		9:00~実技研修1開始 コンパスの使い方(1 2 3等)	9:00~11:10 研究討議 (第11研修室) 「安全指導者を目指して」
10	10:00 スタッフ打合せ 会場準備	10:00 実技研修Ⅱ 「ナビゲーションの実践」	
11	11:30 受付開始	名号コース出発 ※各地点での予定時間	11:10 アンケート記入 11:30 閉講式(第11研修室)
12	受け付け後、食堂で各自が食事 12:45 開講式(第11研修室)	10:15 中国自然歩道分岐発 10:35 名号登山道分岐発 11:30 女三瓶山着	12:00 解散
13	13:15~14:45 講義Ⅰ(同上) 「登山のPDCA」	11:55~12:35 太平山(昼休憩) 12:40 リフト終点付近十字路発 13:20 室の内池南西分岐発	
14	14:45~16:45 講義Ⅱ(同上) 「読図とナビゲーション」 (初級・中級編)	14:20 扇沢発 15:30~40 西の原登山口到着 ※バス移動(約10分) 15:50 青少年交流の家帰着	
16		16:30~17:30 実技研修Ⅲ (第11研修室) 「実技研修の振り返り」	
17	16:45~18:15 講義Ⅲ(同上) 「ルートプランニングの指導」	17:30~22:00 入浴	
18	18:15~19:00 夕食	18:00~19:00 夕食	
19	19:00~22:00 入浴・自由時間	19:00~21:00 情報交換会	
20			
21		自由時間	
22	22:00 消灯 就寝	22:00 消灯 就寝	



## 新型コロナウイルス感染防止対策について

### 1 3密(密閉、密集、密接)回避について

- (1) 宿泊部屋は最大利用人数の50%以下となるようゆとりをもって割り振りし、ベッドや布団の間隔をあけてご使用できるようにします。部屋割りは、原則として同じ山岳会、同じ山岳(協会・連盟)のメンバーで割り振ります。さらに、部屋単位でチームを構成し、食事や入浴等は可能な限りチームで行動します。
- (2) 講義室の座席は指定します。講義中は参加者同士の距離を確保し、こまめに換気を行います。施設内では講師、受講者とも全員がマスクを着用します。
- (3) 食事や入浴に関して、時間差や対面を避けて座るなどの対応を行い、可能な限り接触機会の削減と距離の確保をします。
- (4) 食堂の座席は、テーブルの片側あるいは互い違いに座り、前後左右に最低1席分の間隔をあけ、食事中は黙食で、話す場合はマスクの着用をお願いします。
- (5) 入浴は一度に入浴できる人数の半分程度で利用し、宿泊部屋ごとに時間差を設けて入浴します。入浴に関しては、必要な用具は各自が専用なものを用意してください。
- (6) 実技研修中、車輛で移動する場合は隣接の座席との間隔を空け、窓を開けて換気に配慮をお願いします。
- (7) 実技研修中や休憩時は、距離を確保した行動となるようにお願いします。また、安全性が高い容易なルートを選定することとします。
- (8) 部屋割り、講義室の座席等は受付時にご案内いたします。

### 2 感染症対策

- (1) 主催者はマスクを着用し、対応いたします。
- (2) 参加者にはマスク着用、咳エチケット、こまめな手洗い・アルコール手指消毒液等により感染予防をお願いします。
- (3) 施設内(ドアノブ、テーブル、イス等)を定期的に消毒します。
- (4) 可能な限り講義室の扉は開放し、講義室内の換気に努めます。

- (5) 施設の入り口のほか、必要な各所にアルコール手指消毒液、ペーパータオル等を設置します。
- (6) そのほか、施設のルールに応じた対策を行います。

### 3 参加についてのお願い

- (1) 研修会1週間前から当日前までの体温や体調を指定用紙に記録し、提出してください。発熱や咳等がみられた場合は、参加をご遠慮ください。また、研修会開催中も1日2回(朝・夕)の体調チェックを行います。受講中に体調の変化を感じられた場合は、無理をなさらずに早めにお申し出ください。研修会参加時には、うがい、手洗い、マスク着用など、ご自身で感染予防に努めていただくようお願いいたします。
- (2) 新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい基礎疾患(糖尿病・心不全・呼吸器疾患・高血圧・透析・免疫抑制剤や抗ガン剤等使用者)を持っている方は、参加前(申込前)に医師の判断を仰いでください。
- (3) 研修会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染が確認された場合は、必ず主催者にご連絡ください。
- (4) 3密を避ける観点から募集定員を削減しております。定員を超えるお申し込みの場合は、協議の上参加をご遠慮いただく場合がありますので予めご了承ください。

### 4 参加後の対応について

- (1) 感染が疑われる参加者・運営関係者が発生した場合、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行います。
- (2) 取得した参加者情報に従い、接触した可能性のある参加者へ情報提供を行い、感染が疑われる症状が発生した場合、医師の診察を受けるよう案内いたします。

### 5 その他

- (1) 自治体にて作成のガイドラインがある場合、それらに準拠し、運営手法に関する齟齬のないよう理解を求めます。